

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

向寒の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、成果と課題を分析したものをもとに、今後の教育活動についてお知らせします。

◇大藪小学校の学習状況◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

国語

○基礎知識を問うA問題から

- 俳句の情景を捉える。
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。
- △学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。
- △目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。

○活用力を問うB問題から

- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめる。
- △目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
- △自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。

算数

○基礎知識を問うA問題から

- 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。
- 二つの数の最小公倍数を求めることができる。
- △小数と整数の加法の計算をすることができる。
- △任意単位による測定について理解している。
- △正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。

○活用力を問うB問題から

- △仮の平均を用いた考え方を解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる。
- △割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる。
- △身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる。

質問紙調査（学習や生活環境のアンケート）

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

- 将来の夢や目標を持っている。
- 学校のきまり（規則）を守っている。
- 住んでいる地域の行事に参加している。
- 平日、テレビゲーム、インターネットなどをする時間が1時間未満である。
- 家で、自分で計画を立てて勉強したり、学校の授業の復習をしたりしている。
- 授業のノートには、学習の目標とまとめを書いている。
- △毎日の起床時間はほぼ一定している。
- △国語や算数の授業の内容がよく分かる。
- △友達と話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている。
- △自分には、よいところがあると思う。

以上の事項を踏まえた考察

- ・基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着をめざして、授業を丁寧に進め、見届けや励ましを行ってきたことで、興味関心をもって授業に取り組んでいる。しかし、学習内容が理解できたという実感をもてない子もいる。
- ・家庭でのコミュニケーションがあり、生活習慣が安定していることが、児童の学習への意欲や挑戦しようとする気持ちにつながっている。
- ・めあてをもって行事などに向かって仲間と協力することを大切にしてきたことで、仲間と共に活動したり生活したりすることを楽しいと感じている。
- ・じっくり長い文章を読んで考えたり、学年相応の本に親しんだりする児童が少なく、何が書かれているのか考えながら長い文章を読み、それについて自分の考えを話したり書いたりする力が弱い。
- ・筋道立てて考えたり、最後まで粘り強く考えたりしようとする意欲に欠ける児童がいる。
- ・さらによりよい自分にしていこうとする向上心を育てていくとともに、一人一人のよさを認め褒めて、自己肯定感を高めるようにしたい。

◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得のため、授業の導入の場面で、その日の課題（何を学習するか）がどの子も確実に把握できるような工夫をする。また、終末段階での習熟（練習問題に取り組む）や学び直し（間違いを直したり再テストを行ったりする）の時間を確保する。
- ・各学年の必読図書10冊を読み切る。
- ・考えの過程を大切に丁寧なノートづくりをして、自分の考えや思いを詳しく書いている子を認め、そのよさを広める。
- ・ペア交流や、話し合い活動を授業に位置づけ、仲間に自分の考えを伝える機会を増やす。
- ・一人一人の力が発揮できる場をつくり、それぞれの場で自分の力を発揮し、認め合うことができるようにする。
- ・異年齢集団での活動を大切に、互いに思いやる心を養う。

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」の基本的な生活習慣づくりをする。
- ・テレビやゲーム、インターネット等に関わる家族の約束や、町の情報モラル宣言を守る。
- ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習のポスターや家庭学習パワーアップ習慣の励ましなど）をする。
- ・コミュニケーションや読書の時間（会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など）を確保する。
- ・学習面・生活面ともに、やりきったこと、乗り越えたことなど成功体験を積み重ね、楽しみや自信につなげる。